

広報 しばた

since 1961 2017 JAN

1

No.663

未来を担う子どもたちへ

今年、船岡小学校の大規模改造工事をはじめ、町内学校施設の改修を進めていきます。

子どもたちの成長を支え、町の未来を創っていきます。【写真：船岡小学校】



柴田町長 滝口 茂

2017年
新年のごあいさつ

新しい未来社会の
創造に向けて

地方創生に全力投球



新年あけましておめでと
うございます。

昨年は、柴田町制施行60周年記念事業として念願だった全国さくらサミットや60周年記念式典を多くの参加者のもとに開催出来ましたこと、改めて感謝申し上げます。

年が明けた平成29年は、決意を新たにして、柴田町の未来の創造に向かって、歩みを始めたいと思います。

さて、国も地方も経済のグローバル化や少子高齢化社会の進展といった大きな潮流の渦に巻き込まれ、閉塞感が漂った中にあります。

今こそ、将来の国のあり方や社会・経済のあり方が問

われているときはありませぬ。地方においても、人口の流出や産業の空洞化がもたらす地域経済の衰退、無縁社会の進展に伴う地域コミュニティの崩壊、自治体の財政難など、切実な問題に直面しています。こうした喫緊の問題に的確に対応しながら、いかに持続可能な社会を実現していくか、自治体の力量が問われています。

幸いにも、地方消滅という逆風が吹き荒れている地方において、小さな潮流で

はありますが、インバウンド^{※1}や田園回帰といったローカル志向の追い風が吹き始めてきました。まさに、グローバルとローカルが混在したグローバル^{※2}な時代を迎えています。こうした時代の変化の中にあつて、柴田町が次のステージに向かつてステップアップして

いくためには、グローバルな流れをしっかりと受け止め、町の魅力にさらに研ぎをかけて、国内外に情報発信していくことが重要ではないかと思っております。そのためにはまず、当面の課題である介護、子育て、冠

冠



水対策、生活環境の整備に意を用いながらも、将来のまちの姿を見据えた地方版総合戦略を着実に実施し、総合体育館、図書館、学校給食センターの建設といった大型プロジェクトにも道筋を付けていく年にしたいと思っています。

まち・ひと・しごと創生総合戦略

まず、今年、重点的に取り組むのが「花のまち柴田」を切り口とした地方創生です。現在、町は、「地方版総合戦略」のもとに、新たな人の流れ、仕事おこしを通じ

て定住を促すために、観光まちづくりに全力を挙げています。その戦略の一つがインバウンド政策です。これは、外国人をも引き付ける世界に拓かれた花見の名所である白石川堤一目千本桜から船岡城址公園を経て、まち中を巡る花回廊を整備し、商店街に人を呼び込み、にぎわいを創出しようとする試みです。

昨年は、2千人余りの外国人観光客が花見に訪れ、「しばた千本桜橋」から蔵王の山並みを背景とした白石川堤一目千本桜を堪能していただきました。次に取り組むのが、フッ

トパスによる元気なまちづくりです。地域がこれまで育んできた歴史や文化、自然を一つの道でつなぎ、地域のひととの交流の場になる小さな拠点づくりを通じて、農業・農村の魅力を肌で感じてもらおうとするものです。

私としては、こうしたまちおこしや地域おこしプロジェクトに、多くの人が関わることで、柴田町の未来を担う自立的・主体的な人材が育ち、彼らによって町の魅力や誇りが次の世代に引き継がれていくものと思っています。

社会インフラの整備

次に取り組むのが社会資本の整備です。

町民の日常生活や企業などの経済活動の舞台となる都市空間を快適で魅力あるようにリノベーション^{※3}していく必要があります。

その骨格となる道路整備については、集落間を結ぶ重要な路線として町道富沢16号線の完成を急ぐとともに、安全な通学路を確保するために町道船岡南11号線や町道船岡南8号線の歩道を整備します。

町民の憩いの場、交流の

場となる公園整備については、八重紅しだれ桜と陽光桜を植栽した桜の小径^{こみち}やリバーサイドパークとして白石川堤外地親水公園が完成しますので、4月には歩いて楽しい新たな回遊ルートが誕生します。

北船岡町営住宅建替事業として、3階建ての4号棟を建設し、住み心地の良い居住空間を整備します。さらに、2市7町の「燃やせるごみ」や「プラスチック製の粗大ごみ」の処理を一手に行う、最先端技術を導入した仙南クリーンセンターがいよいよ4月1日から本格稼働します。



地域産業の再生

地域の経済を活性化させるために、観光まちづくりをさらに進めさせ、多くの人を呼び込み、にぎわいをつくり出す中で、新たなビジネスや雇用機会の拡大を目指します。

昨年、町は国から創業支援事業計画の認定を受けました。新たに商工観光課に創業相談窓口を設け、商工会、町内金融機関と連携し、相談者へのアドバイスや資金調達の方法などを支援していくことにしています。また、商店街を活性化さ

せるためにまちゼミ^{※4}やリノベーションスクール^{※5}を開催するとともに、観光客や買い物客が小物づくりや創作料理に積極的に参加できる仕組みづくりに取り組めます。

農村部では、集落ビジネスに取り組む中で、どぶろくの製造販売が出来るよう支援して参ります。

ほ場整備については、先行している中名生・下名生地区がいよいよ事業に着手します。また、富沢・上川名地区、葉坂地区も平成28年度から県調査事業に着手しており、今年度は促進計画を作成する予定です。そ

の他4地区（入間田、船迫・小成田、成田、海老穴）においても、ほ場整備の機運が高まっているので、推進協議会の運営・設立に対し、町としても支援して参ります。

安全・安心な暮らしの実現

自然災害への対応策としては、本格的な鷺沼排水路の整備や下名生剣水地区などの局地的な冠水被害の解消に努めて参ります。

また、子どもたちが安全に学校に通い、快適な学習環境の中で勉強が出来るよ

う、船岡小学校の大規模改修、船迫小学校および槻木小学校の暖房機の更新、東船岡小学校や船迫中学校のトイレの洋式化など、学校施設の改修を進めます。

さらに、犯罪や事故に巻き込まれないように防犯灯や防犯カメラを地域や関係団体と連携して設置し、犯罪の抑止力強化に努めて参ります。

若い世代が安心して子どもを生み、育てられるための経済的支援策として、今年4月1日から子ども医療費の所得制限を撤廃し、中学校3年生までのすべての子どもたちに対し医療費を

助成します。

また、結婚、妊娠、出産、子育てまでのライフスタイルに合わせた子育て支援体制の整備に努めるとともに、子どもの貧困対策として「子どもの貧困対策整備計画」を策定します。

高齢者が地域で安心して暮らせるよう医療・介護、住まい、生活支援、介護予防が一体となって提供される地域包括ケアシステムの構築について本格化させて参ります。そのシステムの基本となる医療と介護の連携を重点的に取り組みます。



スポーツ・文化による にぎわいの創出

心豊かに暮らすための都市施設として、また、スポーツの拠点となる総合体育館については、昨年ボーリング調査を終えました。

今年、具体的な総合体育館のイメージを描けるよう基本計画を策定して参ります。町民の皆さまや議会の理解が得られれば、平成30・31年度に基本設計および実施設計を行い、平成32年度に工事に着手したいと考えております。

太陽の村では、子どもた



ちの冒険遊び場となるよう、スリルを味わえる遊具を整備するとともに、今年4月には石窯ピザや牛タン料理が食べられるお店が開店します。その相乗効果によって、太陽の村開設時にぎわいを取り戻して参ります。さらに昨年、白石市、仙台大学と連携しながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿を誘致するホストタウンに名乗りを上げましたので、今年、国の指

定に向けて全力を挙げて参ります。

また、新たな花の文化の創造を目指して、船岡城址

公園山頂の里山ガーデンハウス周辺において、梅、サンシュユ、ロウバイ、マンサクなど、早春の彩りを楽しむスプリングフラワーフェスティバルを新たなイベントとして開催します。

最後に、じわりと忍び寄る自治体の危機に直面する中で、予測できない未来に向かつて歩みを始めようとする今、おそらく、前途にはさまざまな試練や困難が立ちほだかるかもしれませ

ん。しかし、「明日の天気は変えられなくても、明日の未来は変えられる」といった気概を持って私たちは新しい未来社会の創造に

向かつて、前へ前へと歩んでいかなければなりません。町民一人一人が知恵や勇気を持ってまちづくり

にチャレンジし、心を一つにして行動していけば、必ずや柴田町が「行ってみたい街、住んでみたい街、ナンバーワン」になることも夢ではないと思います。

町民みんなで苦労という種をまき、努力という水をかけ続けていけば、将来必ずや満足の花が咲くと思

います。柴田町にしっかりと根をおろし、柴田町とともに歩んできた地元の私たちがまず立ち上がり、共に汗をか

いてこそ、輝かしい柴田町の未来が拓けるものと思

います。今年一年よろしくお願

い申し上げます。

※1..インバウンド：訪日外国人旅行者のこと
※2..グローバル：グローバル（世界）とローカル（地域）を合わせた造語で世界的な発想で地域性を持つこと

※3..リノベーション：既存の物を改善や改修工事を行い、性能を向上させること

※4..まちゼミ：商店主が講師となつて、専門知識やプロならではのコツを教えるゼミのこと

※5..リノベーションスクール：遊休不動産を有効活用し、その周辺エリアの価値の向上と雇用創出を学ぶ場のこと

て



リコーインダストリー(株)東北事業所
 こいけ じゅんいち
小池 淳一さん (下名生地区・45歳)

昨年は、仕事はもちろんのこと消防団や育成会、地域活動に力を注いできました。さまざまな活動をしていく中で、地域の方々から「お疲れさま」「ありがとう」と声を掛けられるとやりがいを感じます。

ここ数年病気をすることが多かったので、今年はまず健康を第一に考え、病気でできなかった野球などのスポーツも楽しんでいけたらと思います。



槻木中学校3年生
 ひらま みさき
平間 美咲さん
 (海老穴地区・15歳)

昨年は、宮城県いじめフォーラムに参加し、いじめや人権について考えを深めることができました。「自分は思いやりの心を持っているのだろうか」「相手を傷つけていないだろうか」と、自分の態度を見直すきっかけになりました。今年、私は高校生になります。新しいステージでも、相手の立場で考えることを忘れずに、友達をたくさん作りたいと思います。

※第36回全国中学生人権作文コンテスト・大河原地区大会優秀賞・宮城県大会優秀賞受賞



仙台大学1年生
 ひらこ あやな
平子 絢菜さん (船岡地区・18歳)

私は福島県出身です。昨年仙台大学に入学し、一人暮らしを始めて改めて親の有り難みを実感しました。

大学では、レクリエーション部の活動やボランティア活動など初めての体験が多く楽しい1年でした。今年は、昨年よりも活動の幅を広げ、柴田町のイベントや学校のレクリエーション行事などにも積極的に取り組み、学びの多い1年にしたいと思います。

狩猟を始めて41年になります。近年は増えすぎたイノシシの捕獲活動で毎日忙しく過ごしています。

毎朝、地区のこども見守り隊の活動で横断歩道に立ち、子どもたちと「おはよう」、「いってらっしゃい」の挨拶を交わし、子どもの安全を守ると同時にいつも元気をもらっています。

今年1年、健康に気をつけ、さらに充実した生活を送り、元気で節目の70歳を迎えたいと思います。



柴田町鳥獣被害対策実施隊
 たかはし きくお
高橋 喜久郎さん
 (人間田地区・69歳)



船迫小学校5年生
 さとう けんこ
佐藤 憲吾さん
 (西船迫地区・11歳)

昨年は少年野球でサードを守っていました。今年はキャッチャーをするのでチームの要としてがんばり先輩たちよりも一試合でも多く勝ち、チーム一丸となっている色々な大会で優勝したいです。



船迫小学校6年生
 あいざわ まりえ
相澤 真梨恵さん
 (船岡地区・12歳)

小学校1年生から野球をやっています。少年野球ではピッチャー・セカンド・ライトを守っていました。中学校に入ったらソフトボールで、1年生からショートを守ってチームに貢献したいです。

2017年 新しい年を迎え

町民の皆さんの新年の抱負



農業
はたやま ともひろ
畑山 朋宏さん
(船岡地区・33歳)

「農業の仕事に携わりたい」という夢を叶えるため、野菜苗などの生産管理を行う会社で5年程働き、技術と人脈を得ることが出来ました。

昨年夏、念願の新規就農を果たし、葉坂地区で主にトマトや茄子、きゅうりなどの野菜苗の生産を始めました。

今年からビニールハウスなどの生産設備も充実させ、本格的に稼働していきます。チャレンジの年になると思うので、身体に気を付けながら、しっかりと良い品物が生産出来るように、努力して行きたいと思います。

船迫字土平にあるくりえいと柴田で働いています。牛タンカレーなど、レトルト製品の製造部門で異物混入検査、重さ確認作業を担当しています。

今年も、ミスのないよう仕事を頑張りたいと思います。また、小さい頃よく遊んだ柴田町太陽の村に、私たちが運営する「石窯ピザと牛タンの店」がついにオープンします。お客さんがたくさん来てほしいですね。



社会福祉法人はらから福祉会
くりえいと柴田
さとう かつひこ
佐藤 勝彦さん
(船岡地区・46歳)

町の保健師として、町民の皆さんの健康を守る仕事に携わっています。私自身も、昨年「あと10分、あと1,000歩、多く体を動かそう」を意識して、歩いたり、ストレッチをしたり、運動を始めました。

今年もできることをコツコツと積み上げ、充実した1年になるよう過ごしていきたいと思います。



柴田町役場健康推進課
しばた ちあき
柴田 千秋さん
(船岡地区・32歳)



柴田郵便局
こばやし たみこ
小林 多美子さん (中名生地区・60歳)

郵便局は、お客さまとのコミュニケーションを大切にし、子どもからお年寄りまで安心してご利用いただけます。私自身、今年も窓口に来られたお客さまが気持ち良く笑顔でお帰りいただくよう心掛けていきます。

昨年、娘3人がそれぞれ無事出産し、これで孫が5人になりました。忙しくなりますが、孫の世話をするのも楽しみです。



柴田高等学校2年生
しまぬき てっぺい
島貫 哲平さん (船岡地区・16歳)

柴田高校水球部で主将をしています。今年は柴田町を会場にインターハイの水球競技が行われます。

インターハイという大きな舞台で勝つということはとても難しいことだと思いますが、一つでも多く勝ちたいと思います。

自分たちが戦っている姿を見ていただき、水球はカッコいい、おもしろいなど興味を持ってもらえるようがんばりたいと思います。

しばたの冬の夜を彩ったイルミネーション。
私たちが魅了し、癒しのひとときを与えてくれます。



しばたの冬の風物詩

Fantasy Illumination



日時/12月3日(土)
~1月7日(土)
場所/JR槻木駅前

12回目を迎えた
槻木の冬の風物詩です。
JR槻木駅東口のメタセコイア、
西口のケヤキが光輝き、
訪れた人の心を
そっと温めてくれます。

メタセコイアの奇跡!
光り輝け槻木駅 2016





日時/12月3日(土)~28日(水)
 場所/JR船岡駅前~船岡城址公園

JR船岡駅から船岡城址公園まで、
 イルミネーションの温かい光に包まれ、
 ファンタジーな空間が広がりました。



Shibata
 Fantasy
 Illumination
 2016



日時/11月26日(土)~1月6日(金)
 場所/富沢集会所

3回目を迎えた、富沢地区のイルミネーションです。
 地域の中心に位置する集会所を会場として、
 カラフルな色彩が、
 訪れた人を楽しませてくれます。

とみざわ希望の光
 イルミネーション



まちかど NEWS



消防ポンプでホースを中継する消防団



山頂にある里山ガーデンハウスへの放水

林野火災に備え 船岡城址公園での大規模訓練

NEWS

船岡城址公園内で初となる、大規模な火災防ぎよ訓練が11月20日(日)に行われました。

訓練には、柴田町消防団や柴田消防署、柴田町観光物産協会などから約200人が参加しました。

山頂付近の林野火災を想定し、公園下の防火水槽などから取水し、標高差約120m、延長約1,000mを10台の小型消防ポンプで中継、3本のルートを確認して送水と放水を繰り返して消火訓練を行いました。

消防団の平間泰夫団長は、「初めての訓練でしたが、無事に山頂まで水が送られて良かった」と話しました。

11A区 花でふれあう みんなの輪

NEWS

11月19日(土)、11A区の区民19人が参加し、県道角田柴田線沿いにある2つの花壇に、色とりどりのパンジーとビオラの花苗1,100ポットを植える「秋の花植え活動」が行われました。

参加者の佐藤峰子^{みねこ}さんは、「11A区は地域ぐるみの活動が盛んで、花植えをはじめ、さまざまな行事も和気あいあいと行っています。この地区をもっときれいにしていきたいです」と笑顔で話してくれました。



皆さんとても丁寧に花を植えていました。

広 告

広 告

平間きみ江さん 100歳のお祝い

12月1日(木)、槻木新町一丁目にお住まいの平間きみ江さんが満100歳の誕生日を迎えられました。

大正5年、茨城県生まれの平間さんは、結婚後も仕事をしながら4人のお子さんを育てました。

90歳頃までゲートボールを楽しまれていた平間さん。今の楽しみは漢字の練習だそうです。

お祝いとしてご家族から温泉旅行をプレゼントされ、「とても楽しんでできました」と話されていました。

これからも明るく元気で過ごしてください。



ご家族手作りの衣装を着た平間さん

花マルシェ 柴田町初開催



訪れた方は冬を彩る花に魅了されていました。

12月3日(土)、仙台銀行船岡支店向かいの特設会場にて、町商工会主催の「花マルシェ」が開催されました。

シクラメンの鉢花、バラやガーベラなどを花束にしたワンコインフラワーなどの販売を行いました。ゴスペルのコンサートも行われ、夜の開催にもかかわらず会場は温かい雰囲気になりました。

仙台市から訪れた鈴木あや子さんは、「イルミネーションもマルシェも素敵な雰囲気でも良かったです」と話してくれました。

※「マルシェ」とはフランス語で「市場」のこと。



あっという間に大量のゴミが集まりました。

ゴミ拾いで地域をつなぐ 地域クリーン大作戦

11月19日(土)、槻木地区の住民や、阿武隈川運動場を利用している団体など約150人が集い、阿武隈川河川敷の一斉清掃を行いました。

共同作業で河川敷をきれいにし、住民同士のコミュニケーションづくりにも役立てようと、槻木地域づくり推進協議会が主催となり平成19年から行っています。

協議会会長の高橋良知さんは、「みんなで協力して作業ができました。驚くほどのゴミが出てきたので、これからも継続したいと思います」と話してくれました。

広 告

広 告

中学校3年生までの すべての子どもに医療費を助成します！

平成29年4月1日から、子ども医療費助成の所得制限をなくし、中学校3年生までのすべてのお子さんを医療費助成の対象とします。新たに対象となるお子さんは、受給資格の登録（更新）審査で、保護者の方の所得制限限度額超過による支給停止の通知を受けた方となります。該当するお子さんには、平成29年3月中旬に町から子ども医療費助成受給者証を送付します。※申請の手続きは必要ありません。

【助成制度にまだ登録されていないお子さんに申請書を送付します】

平成28年12月31日現在、柴田町に住民登録があり、町の子ども医療費助成制度に受給資格の登録をされていないお子さんは、登録申請書を町に提出して受給資格の審査を行なう必要があります。平成29年1月上旬に登録申請が必要なお子さんへ申請用紙を送付しますので、案内通知にそって、平成29年2月28日までに手続きを済ませていただきますようお願いいたします。

※生活保護法等による医療扶助を受けている方は対象になりません。

☎子ども家庭課 ☎55-2115



平成28年度柴田町議会12月会議において、柴田町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する議案が可決され、平成29年4月1日以後の診療にかかる医療費の助成から、保護者の所得制限を撤廃します。

子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに努め、子育て支援の充実を目指します。

■新たに助成対象になる方

平成28年10月の受給資格登録更新時の該当児童数は4,903人。そのうち助成対象となつたお子さんは、3,940人です。

所得制限限度額超過により支給停止となつたお子さんと未登録のお子さんを含めると、963人が新たに医療費助成の対象になると見込まれます。

医療費助成制度は、みなさんの大切な税金が財源となっております。いつまでも安心して助成が受けられるように、医療機関などを受診するときは、適正な受診を心掛けますよう。

新制度と旧制度の違い

	旧制度 (平成29年3月31日まで)	新制度 (平成29年4月1日から)
助成対象者	0歳児～中学校3年生の年度末までのお子さん	
所得制限	有り	無し
助成の対象となる医療費の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 保険診療による一部負担金（入院時食事療養費を除く）が対象です。 ※健康診断、予防接種、差額室料、薬の容器代などの保険診療適用外は助成の対象となりません。 	



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ31

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第31回のテーマは、「生活習慣病予防のための健康づくり」です。



管理栄養士の話に興味深く聞く皆さん

糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病は、食生活や運動、喫煙、飲酒などの生活習慣によって引き起こされる病気です。自覚症状のないまま進行することが多く、そのままにしておくと脳梗塞や心筋梗塞などの重大な病気となる場合があります。

10月17日(月)に開催した「生活習慣病予防のための健康セミナー」には、84人が参加しました。講師の村川医院村川院長より、「高血糖を改善するには」と題して講話をいただき、多くの方がメモを取りながら熱心に聞いていました。宮城県成人病予防協会管理栄養士からは、基本的な食事の話をしていただき、参加した皆さんは自分の生活を見直し、血糖値の改善について考える機会となりました。

町の特定健診では、約7割の方の血糖値が基準より高くなっています。糖尿病などの生活習慣病を予防するために、普段の生活を見直してみましよう。

健康セミナーに参加した方の感想

- ・糖尿病の恐ろしさを知ることが出来ました。
- ・食事と運動で生活習慣病を予防したいと思います。
- ・日常の食生活を改善していきたいと思いました。
- ・普段お菓子を食べすぎだと思いました。
- ・食事のバランスに気をつけていきたいです。
- ・野菜を多めに摂ることが重要だと知りました。
- ・食べるのに順番があることがわかりました。



飲料に含まれる砂糖の量を確認する参加者

保健師よりワンポイントアドバイス



野菜
(海藻、きのこ、こんにゃくを含む)



おかず
(肉、魚、大豆製品)



炭水化物
(イモ類、かぼちゃ、コーンを含む)

村川先生の講話のポイントを紹介します。
毎食、野菜を先に食べてから、おかずや炭水化物(ご飯やパン)を食べましよう。
食後の血糖値の上昇が緩やかになります。
ぜひ今すぐ生活に取り入れてみましよう。

広 告

広 告

我ら、柴田町地域おこし協力隊

12月1日(木)、地域おこし協力隊2人に滝口町長から委嘱状の交付が行われました。「地域おこし協力隊」とは、都市部の人が地域の課題解決や各分野の活動に携わり、まちづくりの一員となって活躍してもらう制度です。



きたうらあきひさ
北浦鑑久さん
年齢 41歳
出身地 大阪府

「フットパスコースの開発」を主な仕事としていきます。楽しみながら散策するフットパスウォークの視点から町の魅力をより引き出していきたいと思えます。皆さんのお気に入りの道や景色などをぜひ教えてください。



さとうしゅうた
佐藤祥多さん
年齢 28歳
出身地 福島県

まちづくり推進センターを拠点に、地域の活動支援や、ふるさと納税の返礼品の新たな開発をしていきます。普段は、まちづくり推進センターにいますので、いつでもお声掛けください。

こうほう 文芸

俳句

冬の蝶日溜り石に身をまかす
鑿鉋思直に生きて寒に入る
捨て舟や傾ぎたるままだ脚伸ぶ
寒天へ伸びる梯子の軋みかな
山並の襷のむらさき淑気かな
除夜の鐘かぞえ生者の側にをり
うすらひは水の脱皮のかたちかな
かさかさと落葉ころがる風の道
里山や日向にぱつと忘れ花
道路へと店よりリンゴあふれけり
冬浅し水も残さず石枯れて
香り立ちゆずの甘露煮母徳ぶ
錦秋の山に登りて天あおく
恋愛ふ道は牙へたり冬月夜

江戸 裕子
鎌形 清司
鈴木 清子
鈴木 三山
鈴木 幸子
相馬カツオ
石母田星人
可沼 妙子
安ヶ平奈津枝
笠松ふみ子
安藤 節子
玉手みき子
後藤 文子
葦神 葛

川柳

大相撲綱取りまでの壁厚く
太陽と北風つくる甘い柿
トランプ氏ばば抜き勝ちてその先は
3才児言葉覚えて反抗期
雨の中シルバーフェスタ歌踊り
今の時期畑も喜ぶ落葉かな
老ぼれて同じ道のり遠くなり
チョットしたオナラで笑う老夫婦
過疎村にアパート建ちて若返る
主病みて良くなることを祈りつつ

西船迫 渡辺 晴江
榎木 村上 紫寿
西船迫 舟廻めぐる
西船迫 下浦 智子
西船迫 安ヶ平良三
船岡 小林 夢子
榎木 大宮 二郎
船岡 阿部美代子
西船迫 後藤 文子
榎木 つきのき町子

短歌

早朝に走る列車の音ひびく 旅行く人は今日は何処へ
刈り野田に集団雀おりてきて 聴いて見たいな何んの話か
孫と行くこのまちに住みいつの間に 交わす言葉も「おぼんなりしたア」
三日月に寄り添うように寒の星 カーテン開けし一瞬の出会い
愛しいとおもえる女のあらばこそ 命のたぎる今日を生きるも

船岡 可沼 妙子
船岡 伊藤タイ子
本船迫 森田 真六
船岡 沢田 順子
大槻 信吉

広 告

広 告



夢空間
2017



切り絵「榎木東禅寺山門」
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



はなちゃん (ペンネーム)

smile
kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2017)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで1月12日(木)までご応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

こども美術館



「海の中」(工作)

船迫小学校5年

鈴木 陽雄 さん



「カラフルきのこ」(工作)

船迫小学校5年

安藤 那夏 さん

広 告

思いを胸に Vol.139

『安全第一を心掛け、仕事をしていきます』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



土砂の積み込み作業も行う加藤さん

有限会社 加藤土建

加藤 雅哉さん(27歳)
かとう まさや

有限会社加藤土建は、町内の道路や上下水道工事などの公共工事を幅広く行っている土木建設工事業者です。

今回は、工事に所属する加藤雅哉さんを紹介いたします。

加藤さんは入社4年目で、入社当時は現場の作業員として勤務していました。2年前、2級土木施工管理技士の資格を取得し、現在は工事現場の施工管理全般も担当しています。「今までと仕事内容がガラリと変わりましたが、仕事の幅も広がり、以前より責任が重くなったと感じます。工事の発注者や協力企業などの人と関わり、仕事の調整をする機会が増えました」と話します。人との関わりが増えたことで、「加藤土建の息子さんも頑張っているね、と周囲から言われることも増え、とても嬉しくなります」と笑顔で話してくれました。

加藤さんが仕事をすすめるうえで常に心掛けているのは、安全第一です。「何かあつてからでは遅いので、作業従事者だけではなく、近くを通る地域住民にも細心の注意を払うように心掛けています」と話します。また、「道路工事などの公共的な仕事をしていると、直接、地域住民の方から『ありがとう』や『助かります』などの声も聞くこと

ができ、とても励みになり、町民のためにも頑張りたいと思います」と頼もしい限りです。

休日は家族と過ごすことが多く、太陽の村に新しく出来たふわふわドームに、娘さんをよく連れて行く加藤さん。今年1月には新しく家族が増える予定で、一番の楽しみだそうです。

「これからも地域に根ざし、私たちの生活に欠かすことの出来ない道路や上下水道工事など、安全第一な仕事をしていきます」と抱負を述べてくれました。

有限会社加藤土建

柴田町船岡東1丁目8-6
TEL 54-3970



昭和42年創業の土木建設工事業者。道路や上下水道工事など、主に公共工事の設計、施工、管理全般を手掛けています。従業員10人。

人口と世帯数
(平成28年12月1日現在)



38,297人
(前月比29人減)



19,128人
(前月比19人減)



19,169人
(前月比10人減)



15,538世帯
(前月比8世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。